

取扱説明書 サスペンションフォーク

▲ 警告!

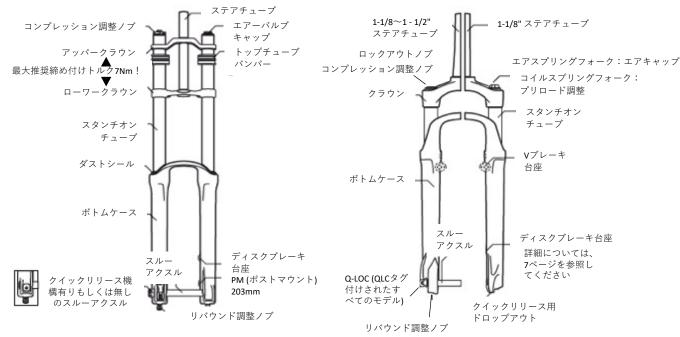
本説明書をよくお読みになり、理解したうえで正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも再び読めるように安全な場所に保管してください。 SR SUNTOUR製品の使用やメンテナンスに当たって不明な点がある場合はご連絡ください。警告や指示をお守りいただけないと、製品が正常に動作しない可能性があり、事故や怪我、致命傷につながります。

概要	2
安全に関する重要な情報	
ご乗車の前に	3
フォークの取り付けについて	
タイヤとの間隔の確認	
タイヤとの間隔	
推奨タイヤサイズ	5
ディスクブレーキ最大取付可能ローターサイズ	7
Q-LOC の取り付け・取り外し	8
LHスルーアクスルの取り付けについて	9
20mmツールタイプアクスルの取り付け·取り外し	10
20mmツールフリーアクスルの取り付け・取り外し	10
15AH2/12AH2 ボルト止めアクスルの取り付け・取り外し	11
SAG の設定	12
エアープレッシャーの調整	
エアーボリュームの調整	
コイルスプリングのプリロード調整	
フォークのメンテナンス	15
対象のバイクタイプ・カテゴリー	



当社のウェブサイトには、中国語、オランダ語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、スペイン語の言語オプションがあります。ここにあるQRコードをスキャンして、各国語の取り説のあるアーカイブに移動してください:

www.srsuntour-cycling.com > Service > Download area > Consumer Downloads > Bike > Owners manuals > General Fork Manual



安全に関する重要な情報



警告!

警告や安全に関するすべての指示をお守りいただけないと、製品が正常に動作しない可能性があ り、事故や重い人身傷害、乗員の致命傷につながる場合があります。

- ▶ サスペンションフォークをお使いになる前に、本説明 書をよくお読みください。
- ▶ 記載されている指示内容には、お使いのサスペンショ ンフォークの正しい取り付け方や点検・整備、メンテナ ンスに関する重要な情報が含まれています。一般的な 機械知識では対応できない場合がありますので、お使 いのサスペンションフォークの取り付けや点検・整備 は、訓練を受けて資格を持つ自転車整備士が専用の工 具を使用して行う必要があります。
- ➤ SR SUNTOURのサスペンションフォークには超高圧の液 ➤ これまでに別のサスペンションシステムをお使いに 体やガスが使われています。SR SUNTOURのサスペン ションフォークは絶対に分解しないでください。部品 が勢いよく飛び出すことがあります。
- ➤ SR SUNTOURのサスペンションフォークは1つの統合シ ステムとして設計されています。正常に動作させて事 故を防止するために、必ずSR SUNTOURの純正部品を使 用してください。他社のスペアパーツを使用した場合、 お使いのサスペンションシステムは保証対象外となり ます。
- ▶ 禁止の警告ステッカーが貼られている場合、当該サス ペンションシステムはジャンプや急勾配のダウンヒ ル、フリーライド、ダートジャンプを目的とした製品で はありません。こうした指示を無視してお使いになる と、サスペンションシステムの故障の原因となり、事故 や人身傷害、致命傷につながるだけでなく、保証の対象 外となります。
- ➤ SR SUNTOURのサスペンションフォークは、乗員1名によ る使用を前提にして設計されています。
- ▶ お使いのフレームの寸法や乗車スタイルに合わせて、 適切なサスペンションフォークをお選びください。フ レームの寸法に合わないサスペンションフォークを取 り付けると、サスペンションフォークやフレームの故 障の原因となり、サスペンションの保証も無効になり ます。

- ▶ 自分の技量や経験の限界を把握し、決して無理な乗り 方はしないでください。
- ▶ 自転車や関連するコンポーネントの取扱説明書をよく お読みになり、理解した上で正しくお使いください。
- ▶ 必ず適切な安全装備をお使いください。自転車用ヘル メットは頭に合ったものを、きちんとあごひもを締め て着用してください。自分の乗車スタイルに合わせて、 適切な安全装備を適宜使用してください。安全装備は 必ず最適なコンディションのものをお使いください。
- なっていた場合でも、新しいサスペンションフォーク を購入した場合は慎重にスピードを出さずに乗車し、 その感覚に徐々に慣れるようにしてください。
- ➤ SR SUNTOURのサスペンションフォークには公道を走る 際に必要なフロントリフレクターは付いていません。 公道や自転車専用道路を走る場合は、必ずフロントリ フレクターを取り付けてください。詳細は販売店にお 問い合わせください。
- ▶ 前輪を外して使用するタイプの自転車用ラックをお使 いの場合は、フォークのつめ部分のラックへの抜き差 しを慎重に行うようにしてください。フォークのつめ を曲げないようにご注意ください。
- ▶ フォークのつめだけで自転車を固定するタイプの自転 車用ラックをお使いの場合は、必ず後輪をしっかりと 固定して動かないようにしてください。後輪が動くと フォークのつめが損傷する可能性があり、このような 損傷は見た目では気付かない場合があります。
- ▶ 自転車が自転車用ラックから外れ落ちてしまった場合 は、乗車する前に資格を持つ自転車整備士に点検して もらってください。

警告!

重度の人身傷害や致命傷を防止しましょう。以下の基準のいずれかを満たしていない場合は自転 車に乗ってはいけません。必ず適正な状態を確認してからご乗車ください。

- やペダル、クランク、シートポスト、サドルなどに亀裂 やへこみ、ねじれ、変色がないか確認してください。ま た、サスペンションにオイル漏れがないことも確認し てください。自転車の下側の見えない部分も必ず確認 してください。いずれかの状態が確認できた場合は、 訓練を受けて資格を持つ自転車整備士に見てもらい、 原因を突き止めて必要な処置を行ってください。
- 体重をかけてサスペンションシステムを圧縮してみ てください。柔らかすぎると感じた場合は必要な調整 つきましては、本説明書の「空気圧とサグ(沈み量)」 を参照してください。
- ことを確認してください。
- 前後の車輪を回転させて、両輪とも正確に中心に位置 し、サスペンションシステムやブレーキに接触してい ないことを確認してください。

- 自転車とサスペンションシステムを点検し、ハンドル ▶ 前後の車輪をクイックリリースシステムで固定してい る場合は、すべてのレバーやナットが適切に締め付け られていることを確認してください。スルーアクスル システムをお使いの場合は、すべての取り付けボルト が適正なトルク値で締め付けられていることを確認し てください。クイックリリースやスルーアクスルを提 供するメーカーの取扱説明書をよくお読みになり、必 ず指示に従うようにしてください。
 - ▶ ケーブル長や取り回しを確認し、自転車のハンドルを 切ってもどこにも干渉しないようにしてください。
- を行い、適正なサグ(沈み量)にしてください。沈み量に ➤ 公道を走るためにリフレクターを付けている場合は、 汚れていない事、適切に取り付けられている事を確認 してください。
- ブレーキが適切に取り付け/調整され、適正に動作する ▶ すべてのコンポーネントの取り付けを点検し、しっか り固定されていることを確認してください。
 - ▶ 地面で自転車をバウンドさせ、緩んでいるところがな いことを目と音で確認してください。

フォークの取り付け

警告!

製品を正常に動作させて事故や人身傷害、致命傷を回避してください。ご購入いただいたSR SUNTOURののサスペンションフォークは、訓練を受けて資格を持つ自転車整備士が取り付けや点 検・整備を行う必要があります。製品を正常に動作させて事故や人身傷害、致命傷を回避してくだ さい。ブレーキやヘッドセットなどの取り付け用ねじはすべて、それぞれのコンポーネントを製造 するメーカーが指定するトルク値で締め付ける必要があります。

- 古いフォークを自転車から取り外し、フォークからクラウンレースパーツを外してください。
- 古いフォークのステアリングステムの長さを測り、SR SUNTOURのフォークのステアチューブの長さと比べま す。SR SUNTOURのサスペンションフォークのステアチューブ長は標準で255mmとなっているため、短く切っ て適正な長さに調整する必要があるかもしれません。
- フォーククラウン上端部にクラウンレースパーツをしっかり圧入します。フォークやその他の部品(ヘッド セット、スペーサー、ハンドルステム)を自転車に再装着します。ヘッドセットを調整して遊びをなくしてくだ さい。詳細はヘッドセットに付属している取り付け説明書を参照してください。

適正なステアリングステムの長さは以下の要領で算出できます:

フレームのヘッドチューブ長 + ヘッドセットの高さ + スペーサー(使用する場合) + ステムの高さ - 3mm(間隔)

- ブレーキの説明書を参照してブレーキを取り付け、適切に調整してください。ディスクブレーキを使用してい る場合は、必ずディスクブレーキ取り付け用の穴に取り付けるようにしてください。カンチレバーブレーキの 場合は、サポートシステムなしで使えるものを使用してください。ブレーキに付属している組み立て説明書を 参照し、ブレーキケーブルは、フォークやハンドルに干渉しない適切な長さのものにしてください。
- 前輪を取り付けます。締め付けレバーやナットはすべて、必ず適切にセットして締め付けるようにしてくださ い(クイックリリースを固定するには、ナットに少なくともねじ山が4回転入っていることが必要です)。ス ルーアクスルを備えたフォークの場合は、すべてのねじが適切なトルクで締め付けられていることを確認し てください。クイックリリースまたはスルーアクスルに付属している説明書を参照してください。

タイヤとの間隔の確認

- 1. フォークのスプリング側から空気を抜きます(エアーサスペンションフォークの場合)。
- 2. フォークを奥までしっかり圧縮します。
- 3. タイヤ上端部とフォーククラウン下面の間の距離を測定します。必ず10mm以上を確保してください。タイヤが大きすぎると、フォークが最大限縮んだ時にクラウン下面に接触してしまいます。
- 4. 確認が終わり問題がなければ、エアーサスペンションの場合は空気を再度規定圧まで注入してくだ さい。
- 5. 泥よけ(フェンダー)をお使いの場合は、その分間隔が狭まることに注意してください。この「タイヤとの間隔の確認」を繰り返し行い、クリアランスを十分確保してください。この確認は、タイヤのサイズを変更するたびに繰り返し行う必要があります。

タイヤとの間隔

▲ 警告!

フォークに装着可能なサイズよりも大きなタイヤを使用するのは非常に危険であり、事故や大怪我、致命傷につながります。タイヤとの間隔を十分に取らないと自転車が突然制御不能になる場合があり、事故や人身傷害、致命傷につながります。

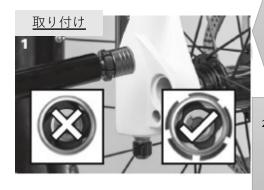
下記の寸法はボトムケースのタイプに基づいています。いくつかの数値は、泥除け装着用ダボを持つボトムケースタイプに基づいています。事前に車輪とフォークが適合していることを確認してください。タイヤに関する必要な情報はタイヤ側面に記載されています。タイヤ外径(タイヤの幅と高さ)はタイヤによって異なります。そのため、タイヤとフォークの間の間隔を確認し、いかなる状況下でもタイヤとフォークが接触しないようにする必要があります。フォークとタイヤの間隔がいちばん狭いのは、ディスクブレーキの場合はブレーキホースが固定されている辺り、Vブレーキの場合はブレーキ台座の辺りです。タイヤを外す場合は、何よりもまず先にタイヤの空気を抜いてください。そうすればタイヤは間隔の狭いところもフォークに接触せずに通り抜けます。

	スタンチオン			最大タイヤ外径		
フォークモデル	ス タンテオン チューブ	推奨タイヤ	最大タイヤ幅	版入メイド外往 (O.D.)		
	サイズ	サイズ	取八ノイバ畑	(0. D. <i>)</i> (*以下注意)		
RUX38 29" BT	38mm	29" x 2.8"	73mm	770mm		
RUX38 27.5" BT	38mm	27.5" x 2.8"	73mm	732mm		
NOX38 27.5 B1	3611111	29" x 2.6" /	7311111	73211111		
DUROLUX38 29" BT	38mm	29 x 2.6 / 27.5" x 2.8"	63mm	756mm		
DUROLUX36 29" BT	36mm	29" x 2.6" / 27.5" x 2.8"	63mm	756mm		
DUROLUX36 27.5" BT	36mm	27.5" x 2.6"	63mm	723mm		
AURON35 29" BT	35mm	29" x 2.4" / 27.5" x 2.8"	63mm	756mm		
AURON35 27.5" BT	35mm	27.5" x 2.8"	73mm	737mm		
AION35 29" BT	35mm	29" x 2.4" / 27.5" x 2.8"	63mm	756mm		
AION35 27.5" BT	35mm	27.5" x 2.8"	73mm	737mm		
ZERON35 29" BT	35mm	29" x 2.4" /	63mm	756mm		
ZERON35 27.5" BT	35mm	27.5" x 2.8" 27.5" x 2.8"	73mm	737mm		
AXON34-werx 29" BT	3511111 34mm	27.5 x 2.8 29" x 2.4"	63mm	756mm		
		29" x 2.4"				
AXON34-elite 29" BT	34mm	29" x 2.4"	63mm	756mm		
AXON34 29" BT	34mm	_	63mm	760mm		
AXON34 27.5" BT	34mm	27.5" x 2.6"	67mm	725mm		
AXON32 29" BT	32mm	29" x 2.4"	63mm	756mm		
AXON32 27.5" BT	32mm	27.5" x 2.5"	66mm	724mm		
EPIXON 29"	32mm	29" x 2.25"	58mm	754mm		
EPIXON 27.5"	32mm	27.5" x 2.25"	58mm	710mm		
EPIXON 26"	32mm	26" x 2.25"	58mm	684mm		
RAIDON34 29" BT	34mm	29" x 2.4"	63mm	760mm		
RAIDON34 27.5" BT	34mm	27.5" x 2.6"	67mm	725mm		
RAIDON32 29" BT	32mm	29" x 2.4"	63mm	756mm		
RAIDON32 27.5" BT	32mm	27.5" x 2.5"	66mm	724mm		
RAIDON32 29"	32mm	29" x 2.25"	58mm	754mm		
RAIDON32 27.5"	32mm	27.5" x 2.25"	58mm	710mm		
RAIDON32 26"	32mm	26" x 2.25"	58mm	684mm		
XCR34 29" BT	34mm	29" x 2.4"	63mm	760mm		
XCR34 27.5" BT	34mm	27.5" x 2.6"	67mm	725mm		
XCR32 29" BT	32mm	29" x 2.4"	63mm	756mm		
XCR32 27.5" BT	32mm	27.5" x 2.5"	66mm	724mm		
XCR32 29"	32mm	29" x 2.25"	58mm	754mm		
XCR32 27.5"	32mm	27.5" x 2.25"	58mm	710mm		
XCR32 26"	32mm	26" x 2.25"	58mm	684mm		
XCR 24"	32mm	24" x 2.1"	54mm	624mm		
X1 29"	32mm	29" x 2.25"	58mm	754mm		
X1 27.5"	32mm	27.5" x 2.25"	58mm	710mm		
XCM34 29 BT	34mm	29" x 2.4"	63mm	756mm		
XCM34 27.5 BT	34mm	27.5" x 3.0"	78mm	740mm		
XCM32 29" BT	32mm	29" x 2.4"	63mm	752mm		
XCM32 27.5" BT	32mm	27.5" x 2.6"	67mm	730mm		
XCM 24" BT	30mm	24" x 2.8"	73mm	678mm		
XCM32 29"	32mm	29" x 2.4"	63mm	758mm		
XCM32 27.5"	32mm	27.5" x 2.25"	58mm	714mm		
XCM 29"	30mm	29" x 2.4"	63mm	758mm		
XCM 27.5"	30mm	27.5" x 2.25"	58mm	714mm		
XCM 26"	30mm	26" x 2.25"	58mm	688mm		
XCM-JR. 20"	28mm	20" x 2.1"	56mm	526mm		

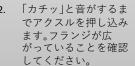
XCT30 29"	30mm	29" x 2.25"	58mm	750mm
XCT30 27.5"	30mm	27.5" x 2.25"	58mm	714mm
XCT L24"	28mm	24" x 2.1"	54mm	628mm
XCT 20" plus	28mm	20" x 2.8"	73mm	554mm
XCT L20"	28mm	20" x 2.1"	56mm	526mm
XCT 24"	25.4mm	24" x 2.1"	54mm	628mm
XCT 20"	25.4mm	20" x 2.1"	56mm	526mm
XCE28 29"	28mm	29" x 2.25"	58mm	750mm
XCE28 27.5"	28mm	27.5" x 2.25"	58mm	714mm
XCE28 26"	28mm	26" x 2.1"	54mm	680mm
MOBIE35 29" BT	35mm	29" x 2.4" / 27.5" x 2.8"	70mm	758mm
MOBIE35 27.5" BT	35mm	27.5" x 2.8"	70mm	730mm
MOBIE34 700C	34mm	700C x 57C	62mm	753mm
MOBIE34 27.5"	34mm	27.5" x 2.4"	63mm	717mm
MOBIE45 700C	34mm	700C x 57C	59mm	751mm
MOBIE45 27.5"	34mm	27.5" x 2.4"	63mm	717mm
MOBIE25 700C	32mm	700C x 57C	59mm	751mm
MOBIE25 700C	32mm	27.5" x 2.4"	63mm	717mm
MOBIE-A32 29"	32mm	29" x 2.4"	63mm	760mm
MOBIE-A32 27.5"	32mm	27.5" x 2.4"	63mm	717mm
XCR32-ATB 29"	32mm	29" x 2.4"	64mm	758mm
XCR32-ATB 27.5"	32mm	29" x 2.4"		718mm
XCM32-ATB 29"	32mm	29" x 2.4"	64mm 63mm	760mm
		29 x 2.4 27.5" x 2.4"		
XCM32-ATB 27.5" MOBIE34 CGO 20"	32mm	20" x 2.6"	63mm	717mm
	34mm	20" x 2.25"	65mm	540mm
MOBIE-A32 CGO 20"	32mm		58mm	530mm
GVX32 700C	32mm	700C x 45C	50mm	722mm
NRX32-15 700C	32mm	700C x 48C	50mm	722mm
NRX30 700C	30mm	700C x 48C 29" x 2.4"	50mm	722mm
NVX30 29"	30mm		63mm	760mm
NVX30 700C NVX30 27.5"	30mm	700C x 52C 27.5" x 2.4"	54mm	738mm
	30mm		63mm	717mm
NCX30 700C	30mm	700C x 48C	50mm	722mm
TR-HSi 700C	30mm	700C x 52C	54mm	738mm
NX1 700C	30mm	700C x 48C	50mm	722mm
NEX-E25 700C	30mm	700C x 52C	54mm	738mm
NEX-E25 26"	30mm	26" x 2.1"	54mm	678mm
NEX 700C	28mm	700C x 48C	50mm	738mm
NEX 26"	28mm	26" x 2.1"	54mm	678mm
M3010-700C	25.4mm	700C x 52C	54mm	742mm
M3010-26"	25.4mm	26" x 2.1"	54mm	684mm
M3010-24"	25.4mm	24" x 2.1"	54mm	630mm
M3010-20"	25.4mm	20" x 2.1"	56mm	526mm
CR85-E25 700C	30mm	700C x 48C	50mm	722mm
CR85-E25 26"	30mm	26" x 2.1"	54mm	684mm

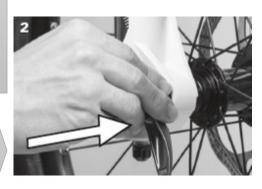
*注意:上記の寸法は、泥除け装着用ダボ付きボトムケース、もしくは泥除け装着用ダボなしの寸法となります。詳細につきましては、フォーク仕様書をご確認ください。

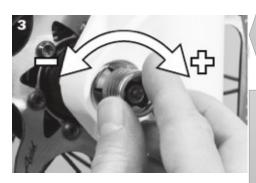
		ディフクキャリパーを直接取	
フォークモデル	スタンチオンチューブ サイズ	ディスクキャリパーを直接取 り付けたときのローター取り 付け最大可能サイズ	最大使用可能 ローターサイズ
RUX38 29"/ 27.5" BT	38mm	<u>190段入り配りイス</u> 203mm	220mm
DUROLUX38 29" BT	38mm	203mm	220mm
DUROLUX36 29"/ 27.5" BT	36mm	180mm	220mm
AURON35 29"/ 27.5" BT	35mm	180mm	203mm
AION35-EVO 29"/ 27.5" BT	35mm	180mm	203mm
ZERON35 29"/ 27.5" BT	35mm	180mm	203mm
AXON34-werx 29" BT	34mm	160mm	180mm
AXON34-weix 29 BT		160mm	
AXON34-ente 29 BT AXON34 29"/ 27.5" BT	34mm		180mm
-	34mm	180mm	203mm
AXON32 29"/ 27.5" BT	32mm	160mm	180mm
EPIXON 29"/ 27.5"/ 26"	32mm	160mm	180mm
RAIDON34 29"/ 27.5" BT	34mm	180mm	203mm
RAIDON32 29"/ 27.5" BT	32mm	160mm	180mm
RAIDON32 29"/ 27.5"/ 26"	32mm	160mm	180mm
XCR34 29"/ 27.5" BT	34mm	180mm	203mm
XCR32 29"/ 27.5" BT	32mm	160mm	180mm
XCR32 29"/ 27.5"/ 26"	32mm	160mm	180mm
XCR 24"	32mm	160mm	180mm
X1 29"/ 27.5"	32mm	160mm	180mm
XCM34 29"/ 27.5" BT	34mm	160mm	203mm
XCM32 29"/ 27.5" BT	32mm	160mm	180mm
XCM32 29"/ 27.5"	32mm	160mm	180mm
XCM 24" BT	30mm	160mm	180mm
XCM-JR. 20"	30mm	160mm	180mm
XCM30 29"/ 27.5"/ 26"	30mm	160mm	180mm
XCT30 29"/27.5"	30mm	160mm	180mm
XCT28 L24"	28mm	160mm	180mm
XCT 20" plus	30mm	160mm	180mm
XCT L20"	30mm	160mm	180mm
XCT 24"/ 20"	25.4mm	160mm	180mm
XCE28 29"/ 27.5"/ 26"	28mm	160mm	180mm
MOBIE35 29" / 27.5" BT	35mm	180mm	203mm
MOBIE34 700C / 27.5"	34mm	180mm	203mm
MOBIE45 700C / 27.5"	34mm	160mm	203mm
MOBIE25 700C / 27.5"	32mm	160mm	180mm
MOBIE-A32 29"/ 27.5"	32mm	160mm	180mm
XCR32-ATB 29"/ 27.5"	32mm	160mm	180mm
XCM32-ATB 29"/ 27.5"	32mm	160mm	180mm
MOBIE34 CGO 20"	34mm	180mm	203mm
MOBIE-A32 CGO 20"	32mm	160mm	180mm
GVX32 700C	32mm	160mm	180mm
NRX32-15 700C	32mm	160mm	180mm
NRX30 700C	32mm	160mm	180mm
NVX30 29"/ 700C / 27.5"	30mm 30mm	160mm	
·			180mm
NCX30 700C	30mm	160mm	180mm
NCX28 26"	28mm	160mm	180mm
TR-HSi 700C	30mm	160mm	180mm
NX1 700C	30mm	160mm	180mm
NEX-E25 700C / 26"	30mm	160mm	180mm
NEX 700C / 26"	28mm	160mm	180mm
M-series	25.4mm	160mm	180mm



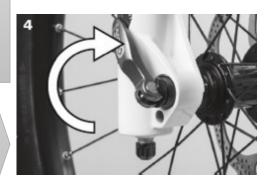
アクスルを挿入する前に、赤いフランジが広がっている事を確認し、レバーを完全に開いた状態にして下さい。

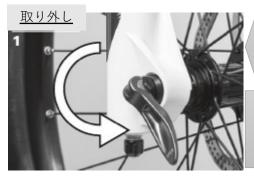




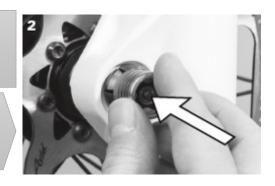


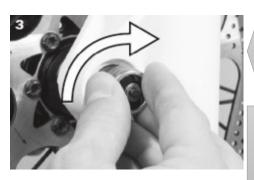
- 3. レバーを半分閉めた状態で張力を調整し、フランジがボトムケースにぴったり付くようにしてください。
- 4. レバーをしっかり閉じてください。車輪が確実に固定されているか確認し、必要に応じて締め直してください。



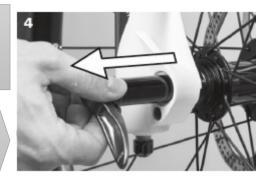


- 1. 右側(駆動側)のレ バーを完全に開いてく ださい。
- 2. 左側(非駆動側)の ナットを押し付け、赤 いフランジが内側に 引っ込んでナットと同 じ外径にします。

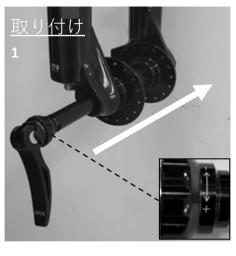




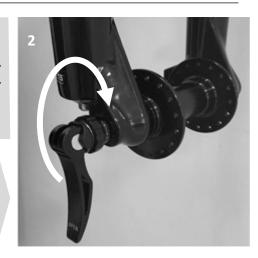
- 3. ナットを押し付けたまま時計回りに回し、手を離してもフランジが開かなくなるようにします。
- **4**. アクスルを引き出します。



LHスルーアクスルの取り付けについて



- 1. アジャストナットを「+」 方向に止まるまで回した後、 ホイールをフォークに入れ、 レバーを開いた状態でアク スルを挿入します。
 - 2. レバーを時計回りに回して、止まるまで車軸を締めます。10Nm以上のトルクで締め付けないようにしてください。

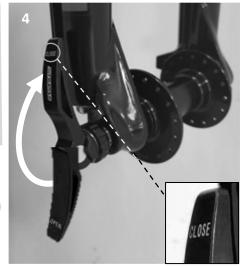


3

3. レバーを反時計回りに地面 の方向になるまで回します。 途中でレバーが締まるまで アジャストナットを(-)方向 に緩めます。

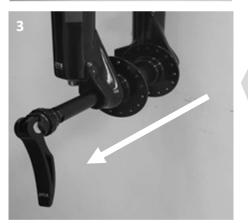
推奨締め付け力:80~120N

4. レバーを完全に閉じます。 目安としては、手のひら にレバーの跡が若干残る 程度です。4 に示すように、 「CLOSE」が外側を向いて いる必要があります。



- 取り外し
- 1. レバーを開きます。.
- 2. 軸を反時計回りに回します。





3. フォークから車軸を取り外 します。

20mmツールタイプアクスルの取り付け・取り外し



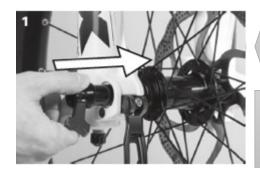
2

※取り外しの際は、上記の逆順になります。

1. アクスルを差し込み、6mm六角レン チを使って締め付けます。(推奨締付 トルク:10Nm)

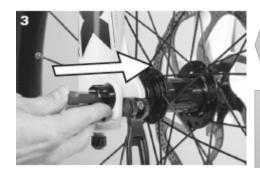
2. セキュリティクランプを4mm六角レンチで締め付けます。(推奨締付トルク:7Nm)

20mmツールフリーアクスルの取り付け・取り外し



- 1. 自転車の右側(駆動 側)からアクスルを差 し込みます。このとき 赤い可動式レバーは先 に出しておきます。
- 2. 赤い可動式レバーを 使ってアクスルを締め 付けます。





- 3. 締め付けたら赤い可動 式レバーをアクスル内 に押し込んで格納しま す。
- 4. クイックリリースレ バーを閉じて固定しま す。



+

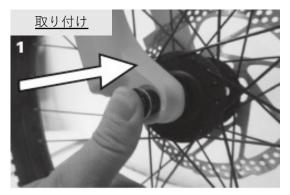
※取り外しの際は、上記の逆順になります。

- 必要に応じて、4mm六 角レンチを使って張 力を調整します。
- クイックリリースレバーはボトムケースにぴったり付けるように閉じてください。

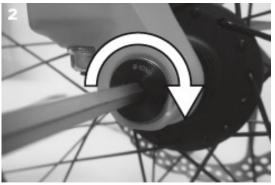


15AH2/12AH2ボルト止めアクスルの取り付け・取り外し

注意:取り付けの前に、Oリングがねじ部に正しく装着されていることを確認してください。



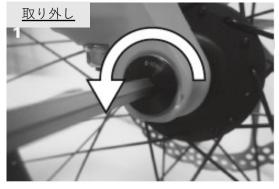
1. 自転車の右側(駆動側)から 車軸をしっかり押し込みます。



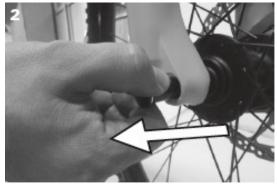
アクスルを6mmのアーレンキで、推奨される締め付けトルク8-10Nmで締めます。



3. 完全に締め付け後、アクスル のネジが視認できることを確 認してください。



1. 6mmのアーレンキでドライブ 側からアクスルを緩めます。



2. アクスルを引き出します。

SAGの設定

SR SUNTOURサスペンションエアスプリングフォークを、最高のパフォーマンスで使用するには、適切なサグ設定になるように空気圧を調整します。サグとは、サスペンションが体重、乗車時の装備、荷物の下で圧縮される量です。サグ範囲は、サスペンションフォークのフルストロークから設定する必要があります。必ず、圧縮ノブをOPENの位置にしてサグを設定してください。

- ➤ 下のチャート(表)は、推奨されるサグ範囲と、工場出荷時に設定されたSR SUNTOURエアサスペンションフォークの空気圧チャートです。これらが出発点であることを忘れないでください。調整は、ライダーの能力、トレイルの状態、フレームのデザイン、個人的な好みによって異なります。サスペンションフォークを設定したら、サグが推奨される設定範囲内であることを確認します。
- ▶ サグは、装備(バックパックなど)を含むライダーの体重、乗車時の位置、フレームの形状によって引き起こされる圧縮であり、乗車の結果ではありません。ライダーごとに体重と乗車位置が異なるため、フロントフォークのサグは状況により異なります。サスペンションフロントフォークの適切な機能を確保し、そのパフォーマンスを妨げないようにするには、適切なサグ設定をすることが、エアサスペンションフォークの正しい空気圧を見つけるための重要な方法です。

EQエアフォークの設定のヒント

- ➤ ステップ1: 推奨空気圧を入れ、フォークをフルストロークの少なくとも50%、数回圧縮して、ポジティブとネガティブのエアチャンバー間の空気圧を等しくします。
- ▶ ステップ2:装備(バックパックなど)を付けた状態で自転車にまたがり、誰かに自転車を支えてもらいながらペダルの上に立ち、フォークを数回圧縮します。次に、自転車に通常のライディングポジションで座ります。
- ▶ ステップ3:サグインジケーターのOリングをダストシールの上部までスライドさせます。
- ▶ ステップ4:フォークがそれ以上圧縮されない様に注意しながら、ゆっくりと自転車から降ります。
- ▶ ステップ5:0リングの位置を確認して、サグ設定が適正に行われているかどうかを確認します。
- ▶ ステップ6:サグの設定が適切に行われていない場合は、空気圧を調整する必要があります。
- SAG(サグ)を上げるには、空気圧を下げます。
- SAG (サグ) を下げるには、空気圧を上げます。
- ✓ 適正なサグポイントが見つかるまで、上記の手順を繰り返します。

フォークストローク	SAG(サグ) (%)	SAG(サグ) (mm)
200 - 180mm	30 - 35%	70 - 54mm
180 - 160mm	25 - 30%	54 - 40mm
160 - 140mm	20 - 25%	40 - 28mm
140 - 120mm	20 - 25%	35 - 24mm
120 - 100mm	15 - 20%	24 - 15mm
100 - 80mm	15 - 20%	20 - 12mm
80 - 63mm	10 - 15%	12 - 6mm

A

警告!

このマニュアルで推奨される設定は、乗り初めの乗り心地をできるだけ簡単に見つける ための出発点として設定されています。 詳細及び適切なアドバイスを得るために、お近 くの自転車店で資格のある訓練された自転車整備士に相談してください。 フォークに慣れてきたら、必要に応じて設定を調整してください。

ライダーの体重	推奨空気圧(psi) <eqエアーシステムフォーク></eqエアーシステムフォーク>							
(kg)	RUX38 / DUROLUX38	DUROLUX36 / AURON35 / MOBIE35	AXON34-werx / elite					
< 55	< 40	35 - 50	40 - 55					
55 - 65	40 - 50	50 - 60	55 - 65					
65 - 75	50 - 60	60 - 70	65 - 75					
75 - 85	60 - 70	70 - 85	75 - 85					
85 - 95	70 - 85	85 - 105	85 - 100					
95 <	85 +	105 +	100 +					
工場設定空気圧	70psi	90psi	95psi					
最大可能空気圧	105psi	120psi	145psi					

ライダー		推奨空気圧(psi) <エアーシステムフォーク>												
フィメー の体重 (kg)		/ XCR34-	AXON32 / EPIXON32 / RAIDON32 / XCR32-air	XCR 24" air	air MOB -a		Mobie25	GVX32	NRX-air	NCX-air				
< 55	35 - 50	40 - 55	40 - 55	40 - 55	40 - 55	35 - 50	40 - 55	40 - 55	40 - 55	40 - 55				
55 - 65	50 - 60	55 - 65	55 - 65	\setminus		50 - 60	55 - 65	55 - 65	55 - 65	55 - 65				
65 - 75	60 - 70	65 - 75	65 - 75			60 - 70	65 - 75	65 - 75	65 - 75	65 - 75				
75 - 85	70 - 85	75 - 85	75 - 85			70 - 85	75 - 85	75 - 85	75 - 85	75 - 85				
85 - 95	85 - 105	85 - 100	85 - 100	\setminus		85 - 105	85 - 100	85 - 100	85 - 100	85 - 100				
95 <	105 +	100 +	100 +	\setminus		105 +	100 +	100 +	100 +	100 +				
工場設定 空気圧	90psi	95psi	110psi	50psi	50psi	90psi	100psi	110psi	85psi	80psi				
最大可能 空気圧	120psi	145psi	145psi	100psi	100psi	120psi	130psi	120psi	120psi	120psi				

注意:上記の数値は参考値です。正しい空気圧は、SAGをチェックして個々に調整する必要があり ます。

エアーボリュームの調整

追加の調整オプション:エアーボリュームアジャストスペーサー

一部のフォークモデルでは、エアボリュームスペーサーを変更することで、ミッドストロークとボトムアウトの抵抗の量を簡単に内部調整ができるようになっています。

サグを設定しても、簡単にフルトラベルしボトムアウトしている場合、1つかそれ以上のスペーサーを追加して、ボトムアウト前の抵抗を上げボトムアウトを防止することができます。

サグを設定しても、まだフルストロークしていない場合、1つかそれ以上のスペーサーを取り外して、ボトムアウト前の抵抗を減らし、ボトムアウトを防止することができます。

その手順と調整は、下チャート(表)を参照して行って下さい。

	$\overline{}$							テムフォ					
						リューム	スペーサ	一数(ラ	バークリ	ップ式)			
		RU)	RUX38 DUROLUX38			DURO	LUX36	AURO	DN35	MOE	3IE35	AXON3	4-werx
ペーリュ	ffタイプス −サーボ . ーム	8.6cc		8.2	2cc	7.5	Бсс						
ペー	タイプス -サーボ -ーム				15mm		15mm		0mm		.0mm	5cc-1	0mm
工場出布時の設定		工場出荷 時の設定	最大可能 スペー サー数										
	旨タイプス ペーサー	5	5	3	3	3	3						
	200mm												
1	180mm			2	6	1	6						
+	170mm			3	6	2	6						
° 1 €	160mm			4	6	3	6	7	10	7	11		
ĶĽ	150mm					4	6	8	10	8	11		
7	140mm							9	10	9	11		
K K	130mm									10	11		
7 7	120mm									11	11	3	8
	110mm											3	8
	100mm											3	8

		エアーシステムフォーク											
	エアーボリュームスペーサー数(ラバークリップ式												
	AIO	N35	ZERC	DN35	AXO	N32	MOBIE	34-air	MOBIE	45-air	G'	٧X	
ゴムタイプス													
ペーサーボ	50	CC	50	cc	4.3	Bcc	50	CC	50	CC	4.3	3cc	
リューム													
	工場出荷	最大可能	工場出荷	最大可能	工場出荷	最大可能	工場出荷	最大可能	工場出荷	最大可能	工場出荷	最大可能	
ストローク	時の設定	スペー サー数	時の設定		時の設定	スペー サー数	時の設定	スペー サー数	時の設定	スペー サー数	時の設定		
160mm	3	6											
150mm	3	6	3	6	\setminus		\setminus	\setminus		\setminus			
140mm	3	6	3	6	\setminus		\setminus	\setminus	\setminus	\setminus			
130mm	3	6	3	6	\setminus		\setminus	\setminus	\setminus	\setminus			
120mm	3	6			2	4	\setminus	\setminus	\setminus	\setminus			
100mm	\setminus	\setminus			2	4	2	5	2	5			
80mm	\setminus	\setminus			\setminus	\setminus	2	5	2	5			
60mm									2	5	4	4	
50mm											4	4	
40mm											4	4	

注意:

フォークを損傷する可能性があるため、最大ボリュームスペーサーの数を超えない様、注意ください。

コイルスプリングのプリロード調整

バネのプリロード(予荷重)を調整することにより、乗員の体重や乗車スタイルに合わせてフォークを調整できます。設定するのはコイルバネの硬さではなく、バネの予荷重です。これにより、乗員が着座した時のフォークのサグ(沈み)が抑えられます。通常は標準硬さのバネが使われています。バネの予荷重は、プリロードアジャストノブを時計回りに回すと強まり、反時計回りに回すと弱まります。SR SUNTOURのサスペンションフォークでは、標準の硬さ以外に、ソフトとハードと2種類のバネをオプションでご用意しております。



フォークのメンテナンス

可動部品は水分や汚れに曝されますので、何度か乗車するとサスペンションシステムのパフォーマンスが低下する可能性があります。サスペンションシステムを高いパフォーマンスで安全に末永くお使いいただくためには、定期的なメンテナンスが必要です。

- > メンテナンス指示内容に従って点検・整備が行われていない場合、サスペンションシステムは保証対象外となります。
- サスペンションシステムを洗浄する際には、高圧洗浄機などの高い圧力の水を使用する機器を用いてはいけません。ダストシール部分から水が入り込む可能性があります。強力な洗浄剤も使用しないでください。サスペンションの汚れは、きれいな水と湿った布で拭き取るようにしてください。
- 過酷な気象条件(冬季、あるいは水がたまった泥だらけの道など)や起伏に富んだ地形を走る場合は、下記「メンテナンスについて」よりも多い頻度でサスペンションシステムの点検・整備を行う必要があります。
- ▶ お使いのサスペンションシステムのパフォーマンスがおかしい、あるいはハンドルの感覚がしっくりこないとお考えの場合は、すぐにフォークの点検を最寄りの販売店にご依頼ください。
- ▶ 乗った後に必ず行うメンテナンス: フォークの各チューブやダストシールを掃除して少量の油を含ませた布で拭き上げて下さい。フォークパイプの表面にへこみや傷、変色、オイル漏れ等がないことを確認してください。
- 50時間毎に行うメンテナンス:メンテナンス1(販売店にご依頼ください。)
- ▶ 100時間毎、または年1回行うメンテナンス:メンテナンス2(しっかりグリスを充填し天候による影響からすべてのパーツを保護できるように、できれば冬期に入る前に販売店にご依頼ください)。

メンテナンス1:

フォークの機能の確認 / ボトムケース底部の取り付け用ねじやナットの締め付けトルク確認 (推奨締め付けトルク: ボルトタイプ10Nm、ナットタイプ8Nm) /傷やへこみ、亀裂、変色、劣化の徴候、軽度の腐食 (少量の油を含ませた布で拭き上げて保護)、オイル漏れの確認。

<u>メンテナ</u>ンス2:

メンテナンス1の項目に加えて、フォーク全体(内側および外側)の分解清掃/ダストシールやスライダースリーブの清掃および潤滑油塗布/締め付けトルクの確認/乗員の好みに合わせた調整。

分解する前にフォークのスライダースリーブの遊び(ガタつき)を確認します。スライダースリーブの遊びを確認するには、フォークを車体に取り付けた状態で前輪ブレーキをかけ、ハンドルステムを握って自転車を前後に優しく揺らします。遊びが大きすぎる場合(フォークブレース部で1mm以上)はスライダースリーブを交換してください。

推奨カテゴリー

### 19	3,2,0,0											
Section Sect		o* ゲリフンフト	o* がリマンフト	o* がリマンフト								
ACTIVITY											クロフカント	
1.0 1.0					カロフバイカ		シティバイカ			オールマウンテ		クロスカント
Comparison Com	タイプ				グロスハイグ	バイク	ンティハイツ	バイク	バイク	ンバイク		リーバイク
## 10											レー人用ハイク	
1921					敬 什	敬 什	微女 什	敬4 什	敬 什	敬4 什	微欠 件	敬欠 件
### ### ##############################	\											
Design D	\	推奨	推奨		推奨	推奨	推奨	推奨	推奨	推奨	推奨	推奨
The color of the	\		カテコリー		カテコリー	カテコリー	カテコリー	カテコリー	カテコリー	カテコリー	カテコリー	カテコリー
### A PATRICUS CONTROL OF THE	\	EU電動アンスト	FU雷動アシスト						クロスカント	クロスカント		
Date		スピート・ペメ			舗装路または軽	舗装路または軽				11 1 1 0	クロスカント	クロスカント
					度のオフロード	度のオフロード	舗装路		バイク・エン		リーレース、ク	
March Marc						~~~~					ロスカントリー	^
	\ \							1				
Part	\	非推奨										非推奨
	\	カテゴリー	カテゴリー	カテゴリー	カテゴリー	カテゴリー	カテゴリー	がウンルリ	カテゴリー	カテゴリー	カテゴリー	カテゴリー
Part	\ \	ダウンヒル、エ						37767				
	\	ンデューロ、									がわいし エ	ダウンヒル、エ
MOBIES BOOST	\	オールマウンテ	Athan Salari		Andreada S. C. Land Communication of the Communicat							ンデューロ、
MOBIES BLOOST MOBIES 0 MOBIES 0 MOBIES 0 MOBIES 0 MOBIES 0 MOBIES 0 MOBIES 0 MOBIES 0 MOBIES 0 MOBIES 0 MOBIES 2 MOBIES 3 MOBIES 4 MOBIES 3 MOBIES 4 MOBIES	\	ン、クロスカン		ダウンヒル					ダウンヒル	ダウンヒル		オールマウンテ
MOBIESS BOOST O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	\ \	トリーレース、	ンテューロ		ロスカント	リーレース、クロ	スカントリー				オールマリンテ	ン、クロスカン
MOBIES BOOST O O O O O O O O O O O O O O O O O O O											2	トリーレース
MOBIES O O O O O O O O O O	V											
MOBIES O O O O O O O O O O	MODIESE BOOST			0		Ì	i			0		0
MOBIELS O O O O O O O O O O O O O O O O O O O										U		U
MOBIESS	MOBIE34	0	0									
MOBIESS	MORIE45	Ω	0									
MOBIES AS COO					_							
MORIES ACGO	MOBIE25				U	U	<u></u>					
MORIES ACGO	MOBIF-A32		0		0	0						
BOOST 20" 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				i e			i –	i e	l .	i	i	
BLOST (2)		0	0	I	I	I	0	I	I	I	I	
MOBIE-A22 COO 20	BOOST 20"			<u></u>	<u></u>	<u></u>		<u></u>	<u></u>	L	L	
Dec												
DECEMBER			0	I	I	I	I	I	1	l	I	
XCM32-ATB												
XCM32-ATB	XCR32-ATB		0	I	I	0	0	I		I	I	
SVX32				i	1			i	1	1	i	
NRX32							\vdash			 	 	
NRX30	GVX32		0	L	0	<u></u>	L	L	L	L	L	0
NRX30	NRX32		0		0			1				0
NCX32				-		-		-				<u> </u>
NCX NYX30						0	0	<u></u>		<u></u>	<u></u>	
NCX NYX30	NCX32		0			0	0					
NVX30				 	†			 		†	 	
NEX.E25 O O O O O O TRA-HSI O O O O O TRA-HSI O O O O O O O O O O O O O O O O O O O												
NEX.E25 O O O O O O TRA-HSI O O O O O TRA-HSI O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	NVX30		0	I	I	0	0	I		l	I	
CR85-E25												
TR-HSI NX1 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O						U	_					
NYT	CR85-E25		0				0					
NYT	TR_HSi					0	0					
NEX												
M3010 700C/28"	NX1		0			0	0					
M3010 700C/28"	NEX					0	0					
M3010 24*720*												
CR8						U						
RUX38 BOOST	M3010 24"/20"						0					
RUX38 BOOST	CR8						0					
DUROLUX38 DUROLUX36 DURO							<u> </u>					
BOOST	RUX38 BOOS I							O				
BOOST	DUROLUX38			_					_			
DUROLIUX36 DO				0					0			
BOOST												
SOOST	DUROLUX36											
AURON35 BOOST	BOOST			0					0			
BOOST												
SOUST	AURON35											
AION35 EVO BOOST ZERON35 BOOST ZERON35 BOOST ZERON35 BOOST ZERON35 BOOST ZERON35 SOST ZERON35 SOST ZERON36 SOST ZERON36 SOST ZERON37 SOST ZERON37 SOST ZERON37 SOST ZERON38 SOST ZERON38 SOST ZERON38 SOST ZERON38 SOST ZERON38 ZERON3	BOOST			I ~								
BOOST O												
SOUST				0						0		
BOOST	BOOST			_						_		
BOOST	ZERON35											
AXON34 werx BOOST AXON34 elite BOOST O O O O O O O O O O O O O O O O O O				0						0		
SOOST												
SOUST	AXON34 werx											
AXON34 elite BOOST AXON32 werx O AXON32 BOOST AXON34 BOOST AXON34 BOOST AXON34 BOOST AXON35 BOOST AXON35 BOOST AXON32 BOOST AXON34 BOOST AXON34 BOOST AXON35 BOOST AXON35 BOOST AXON36 BOOST AXON37 BOOS			I	I	I	I	I	I	I	I	l o	
BOOST												
SOOST			I	l 0	I	I	I	I	I	I	0	
AXON32 werx AXON34 BOOST OOO AXON37 BOOST AXON32 EPIXON RAIDON34 BOOST RAIDON32 BOOST RAIDON32 CKR34 BOOST RAIDON32 CKR32 BOOST XCR32 BOOST XCR32 BOOST XCR34 BOOST XCR34 BOOST CKR34 BOOST CKR35 BOOST CKR35 BOOST CKR36 BOOST CKR37 BOOST CKR37 BOOST CKR38 BOOS	BOOST		L	ັ	<u></u>	L	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>	L	ັ	
AXON34 BOOST O O O O O O O O O O O O O O O O O O			1					1			0	
AXON32 BOOST AXON32					-	-	-	-		 		
AXON32 EPIXON RAIDON34 BOOST RAIDON32 BOOST RAIDON32 CRAS4 BOOST CRAS2 CRAS4 BOOST CRAS2 CRAS4 CRAS4 CRAS4 CRAS4 CRAS4 CRAS4 CRAS5 C			0	0								0
AXON32 EPIXON RAIDON34 BOOST RAIDON32 BOOST RAIDON32 BOOST RAIDON32 CRAS4 BOOST CRAS2 CRAS4 BOOST CRAS32 CRAS4 CRAS4 CRAS4 CRAS4 CRAS5 CRA	AXON32 BOOST		I	I	I	I	I	I		I	I	0
EPIXON RAIDON34 BOOST RAIDON32 BOOST RAIDON32 CR34 BOOST CR32 BOOST XCR32 BOOST XCR34 BOOST XCR34 BOOST XCR32 C C C C C C C C C C C C C C C C C C C			i	i		i	i	i				
RAIDON34 BOOST RAIDON32 BOOST RAIDON32 CCR348 BOOST CCR328 CCR348 CCR329 CCR348			 	 	—						 	
BOOST RAIDON32 BOOST RAIDON32 CRASA BOOST OOO CRASA BOOST OOO CRASA BOOST CRAS			<u></u>	<u> </u>	<u></u>	<u></u>	<u></u>	<u></u>	<u></u>	L	L	0
BOOST RAIDON32 BOOST RAIDON32 CRASA BOOST OOO CRASA BOOST OOO CRASA BOOST CRAS	RAIDON34											
RAIDON32 BOOST RAIDON32 CR34 BOOST O O O O O O O O O O O O O O O O O O			I 0	I 0	I	I	I	I	I	I	I	0
BOOST RAIDON32 XCR34 BOOST O O XCR32 BOOST XCR32 XCR32 XCR24" X1 X1 XCM34 BOOST O XCM32 BOOST XCM32 BOOST XCM32 BOOST XCM32 BOOST XCM32 BOOST XCM32 XCM O XC											 	
BOUST	RAIDON32		I	I	I	I	I	I	I	I	I	
RAIDON32 XCR34 BOOST O XCR32 BOOST XCR32 XCR24" X1 X1 X1 X1 XMM34 BOOST XCM34 BOOST XCM32 XCM34 BOOST XCM32 XCM Q XCM Q	BOOST		I	I	I	I	I	I	I	I	I	U
XCR34 BOOST 0 0 XCR32 BOOST 0 0 XCR32 0 0 XCR24" 0 0 X1 0 0 XCM34 BOOST 0 0 XCM32 BOOST 0 0 XCM SCM 0 0 XCM 24" BOOST 0 0 XCM -JR. 20" 0 0 XCT30 0 0 XCT 24" plus 0 0 XCT 24" plus 0 0 XCT 24" plus 0 0 XCT 20" plus 0 0 XCT 20" plus 0 0 XCT 20" plus 0 0				 	 					 	 	
XCR32 BOOST XCR32 XCR24" X1 X1 X1 X1 XCM34 BOOST XCM32 BOOST XCM32 BOOST XCM32 XCM O												0
XCR32 BOOST XCR32 XCR24" X1 X1 X1 X1 XCM34 BOOST XCM32 BOOST XCM32 BOOST XCM32 XCM O	XCR34 BOOST	0	0	0	l	l	I	l		l	I	0
XCR32 XCR24" X1 X1 X1 XCM34 BOOST O O XCM32 BOOST XCM32 XCM O XCM O O C XCT 24" plus O C XCT 24" plus O C XCT 24" plus O C XCT 20" plus C XCT 20" plus O C XCT 20" plus C XCT 20" plus C XCT 20" DIV XCT 120" O C XCT 120"					i	i	 	i		i	i	
XCR24" X1 XCM34 BOOST CM CM32 BOOST XCM32 XCM CM C										 	 	
X1 XCM34 BOOST O O O O XCM32 BOOST O O O O O O O O O O O O O O O O O O	XCR32		L	L		<u></u>	L	L	L	L	L	0
X1 XCM34 BOOST O O O O XCM32 BOOST O O O O O O O O O O O O O O O O O O	XCR24"											0
XCM34 BOOST O O O O O O O O O O O O O O O O O O			-	-	-	-	-	-		-	—	
XCM32 BOOST XCM32 XCM												0
XCM32 BOOST XCM32 XCM	XCM34 BOOST	0	0	0							l	0
XCM32 XCM XCM O XCM 24" BOOST O XCM-JR. 20" O XCT-JS0 XCT 24" plus XCT 24" plus XCT 20" plus			- 	- 	l	 						
XCM 0 XCM 24" BOOST 0 XCM-JR. 20" 0 XCT30 0 XCT 24" plus 0 XCT28 L24" 0 XCT 20" plus 0 XCT 20" plus 0 XCT L20" 0				ļ	ļ					 	 	
XCM 0 XCM 24" BOOST 0 XCM-JR. 20" 0 XCT30 0 XCT 24" plus 0 XCT28 L24" 0 XCT 20" plus 0 XCT 20" plus 0 XCT L20" 0	XCM32		L	L	<u> </u>	L	L	L		L	L	0
XCM 24" BOOST O O SCM-JR. 20" O O SCM-JR. 20" O O SCM-JR. 20" O O SCM-JR. 24" DO SCM-JR. 24" DO SCM-JR. 24" O O SCM-JR. 24" O O SCM-JR. 24" O O SCM-JR. 24" O O SCM-JR. 25" O O O SCM-JR. 25" O O O O O O O O O O O O O O O O O O O			I	1		n	1	I				0
XCM-JR. 20" XCT30 XCT 24" plus XCT 24" plus XCT 20" plus XCT 20" plus XCT 20" plus XCT 20" O			-	!	1		-	-		 	 	- J
XCT30	XCM 24" BOOST		<u></u>	<u></u>	<u></u>	0	<u></u>	<u></u>		<u></u>	<u></u>	
XCT30			I Total	I Total		0	l T	1		I	I	
XCT 24" plus			 	 	 		 	 		 	 	
XCT28 L24" O			L				<u> </u>					
XCT28 L24" O	XCT 24" plus		l	I		0	I	I		I		
XCT 20" plus 0			 	 	1		 	 	 	-	 	
XCT L20" O												
XCT L20" O	XCT 20" plus		I			0	I	I		l	l	
			 	 	 		 	 		 	 	
KCT 24"/20"			ļ	ļ			ļ	ļ		ļ		
	XCT 24"/20"		l			0		l				
XCE28 O						Ω						
70					L	<u> </u>						

カスタマーサポートオフィス

アジア・オセアニア

SR SUNTOUR INC.

#7 Hsing Yeh Road
Fu Hsing Industrial Zone
Chang Hua, Taiwan, R.O.C.
Tel: +886-(0)4-769-5115
service@srsuntour.com.tw

SR SUNTOUR INTERNATIONAL CO., LTD.

No. 1500 Honghu Road, Penglang Kunshan, Development Zone Jiang Su Province, China ZIP 215333 Tel: +86-512-5517-1127 sr-service@srsuntour.com.cn

SRS INTERNATIONAL TRADING LTD.

Room 501, 5th floor, Building No. 2 Jiaxing Industrial Zone, Shubei Road Gongming Town, Guangming District Shenzhen City, China 518106 Tel: +86-755-271-084 83

SR SUNTOUR ジャパン

service@srsuntour.com.cn

〒111-0051 東京都台東区蔵前3-13-13 NRビル 4F

Tel: +81-3-5829-9211

<u>ヨーロッパ</u>

SR SUNTOUR EUROPE GmbH

Riedstrasse 31 83627 Warngau, Germany Tel: +49-(0)802-150-793-0 service@srsuntour-cycling.com

SR SUNTOUR Düsseldorf GmbH

Fichtenstrasse 115, 40233 Düsseldorf Germany Tel: +49-(0)211-5426-8950 service@srsuntour-cycling.com

SAV SR SUNTOUR FRANCE

604 voie Galilee 73800 Sainte Helene du Lac, France Tel: +33-(0)981-241650 sav@srsuntour-cycling.com

アメリカ

SR SUNTOUR North America Inc.

7509 S. 5th Street Suite 124 Ridgefield, Washington 98642

Tel: +1-360-737-6450

Sales: ssna@srsuntourna.com

Service, warranty: service@srsuntourna.com

SR SUNTOUR Madison

910 Watson Avenue Madison, Washington 53713 USA Tel: +1-608-229-6610

service@usulcorp.com

ウエブリンク

詳細はSR SUNTOURのウェブサイト(www.srsuntour-cycling.com)を参照してください。 また、以下のリンクもご利用ください。

- ◆ サービスリクエスト: http://www.srsuntour-cycling.com/service/service-request
- ◆ マニュアルビデオ:http://www.srsuntour-cycling.com/service/tech-videos
- ◆ ダウンロードエリア:http://www.srsuntour-cycling.com/service/download-area
- ◆ 取扱説明書:http://www.srsuntour-cycling.com/ja/service/download-area/consumer-downloads/bike/owners-manuals/general-fork-manual/
- ◆ フォーク用語集:http://www.srsuntour-cycling.com/service/fork-glossary
- ◆ 保証関係:http://www.srsuntour-cycling.com/service/warranty